

長引く痛みに どこまでも寄り添えるクリニックに

医療法人晴琉会 かんざき整形外科

患者さんの痛みと向き合うために開業

管理職となって患者さんと向き合う時間が減ったことが大きな理由です。痛みを解決することは短時間では難しく、一人ひとりに時間をかけたいと考え、自身の専門性を高めるためにも、50歳を迎える前に人生の転機として決意しました。物件選びでは立地と広さによって価格が上昇するためバランスを考慮せねばならず、初期投資額を明確にする必要がありました。内装は、コーポレートカラーをどこに配置するか、グラフィックイメージと実際の仕上がりでどれくらい違いがあるのかなどに不安があったので、3Dレイアウトイメージの他に、VR技術を活用したシミュレーションがあればと感じました。

治療だけでなくリラックスもできるように

リハビリテーション機器は、疼痛改善とリラクゼーションの大きく二つに分けられると思います。それらをバランス良く揃えていくことを機器選定のベースとしました。できるだけさまざまなタイプの機器を使っただくことをメインに、パーソナルスペースも充分確保でき、光の入り具合も含めてリラックスできる環境が希望でした。また、機器は操作性の高さにこだわって導入しました。

シームレスな医療サービスで、安心と満足を提供

高齢の患者さんが中心のため、採用ではキャリアの他、コミュニケーション能力も重視しました。受付、診察、検査、リハビリテーション、会計まで、シームレスに安心・満足して帰っていただけることをコンセプトに環境を整備しました。整形外科は慢性疼痛に悩まれる患者さんがほとんどで、1回の治療ではよくならず、リハビリテーションは欠かせません。継続的にリハビリテーションを提供できる環境、スタッフの充実、症状の改善度を確認できる診察と検査。これらを組み合わせて、悪化する前にすぐに相談できるような距離感の近い医院として、地域医療を提供していきたいと思っています。



クリニックの外観。清潔で開かれた印象の施設



アイランド方式に配置することで多人数同時対応できるよう配慮



広々としたお洒落で落ち着いた受付



電気刺激で痛みを緩和する低周波治療器



先進の腰椎・頸椎牽引器



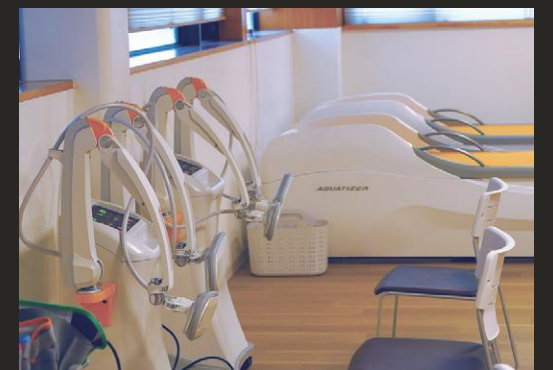
背中からふくらはぎまでをマッサージするウォーターベッド



骨密度測定装置・X線装置



個別空間による運動療法スペース



患部を温めるマイクロ波治療器

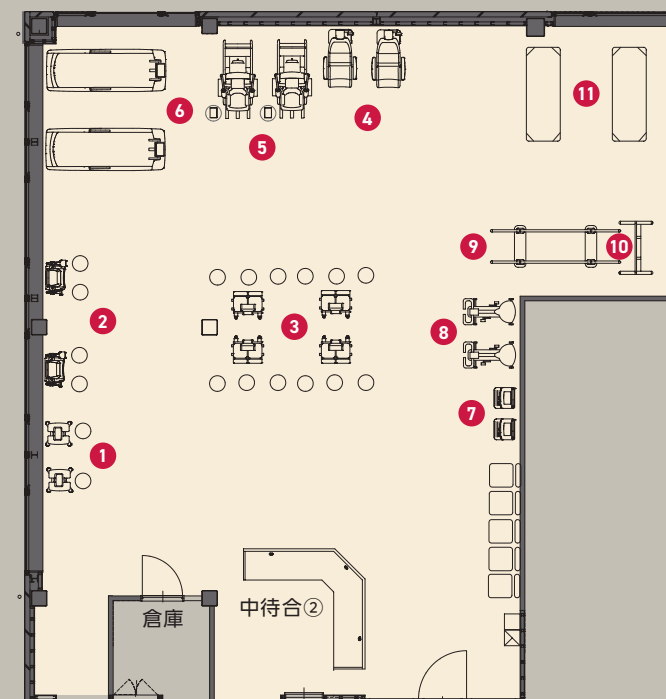
施 設 レ イ ア ウ ト

リハビリ室 126.41㎡ (38.3坪)

3Dレイアウト



2Dレイアウト



弊社ご納入機器

① MHR-4f	ホットリズムー	⑦ LX-H1T	ラクシア
② MT-5D	マイクロタイザー	⑧ V67Ri	コードレスバイク
③ KT-108+	カインタイザー(8ch)	⑨ B4120MN25	移動式平行棒 2.5M
④ TC-C1	トラックタイザー(頸椎)	⑩ K3160M	移動式姿勢矯正鏡
⑤ ST-5L	トラックタイザー(腰椎)	⑪ W7050	ウェルベッド
⑥ QZ-280SGA	アクアタイザー		

施設概要

事業開始年月日	2025年3月3日
同時利用人数	20名*
1日のスタッフ構成	医師1名、看護師2名、理学療法士2名 受付・医療事務スタッフ3名
施設基準	運動器リハⅡ
施設の特徴	大阪市内で群を抜く広さのリハビリ室と先進の医療機器を完備。日常生活でのストレッチや運動習慣の指導から、痛みの原因となる生活習慣の改善まで、健康寿命の延伸をトータルにサポートいたします。

*機器の種類・台数や、PT等の配置人数から、同時に治療できる最大人数